

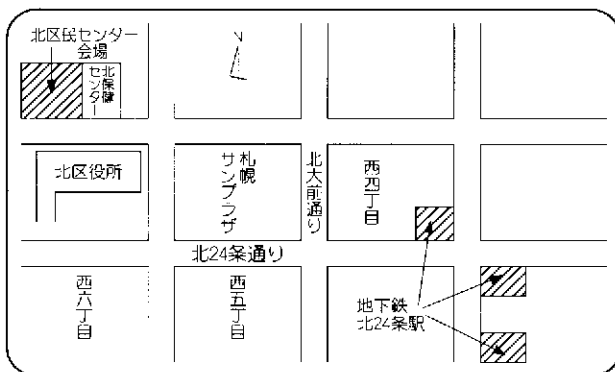
生きる仲間

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H・S・K通巻385号
◎発行日 平成16年4月10日
(毎月10日発行)
◎発行責任者 鈴木 啓三
◎編集 札幌腎臓病患者友の会
札幌市北区北17条西2丁目21-617
サザンアベニュー北入301
◎発行所 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会

平成16年度

札幌腎友会第29回定期総会議案

日時：平成16年5月16日(日) AM10:00~12:00
場所：札幌市北区北25条西6丁目
札幌市北区民センター3階講義室



総会のご案内について

上記のとおり総会を開催致しますので ぜひご出席して下さい
なお 当日都合により出席出来ない方は 会則第12条に基づき 各施設幹事の出席をもって委任状提出者とみなし 議事議決の権限を各施設幹事に委任させていただきます
また 文書発信用紙により意見を述べる事が出来ます
総会当日は この議案書を必ずご持参下さい

札幌腎臓病患者友の会

第 29 回 総 会 次 第

1. 開会のあいさつ 10:00
2. 黙 と う
3. 会長のあいさつ
4. 来賓のあいさつ
5. 祝電・メッセージ披露
6. 議 長 選 出
7. 報 告 事 項
 - (1) 平成15年度 活 動 報 告
 - (2) 平成15年度 決 算 報 告
 - (3) 平成15年度 監 査 報 告
8. 審 議 事 項
 - (1) 平成16年度 活 動 方 針(案)
 - (2) 平成16年度 予 算(案)
 - (3) 平成16年度 役 員 紹 介
 - (4) そ の 他
9. 閉会のあいさつ 12:00

平成一五年度活動報告

平成一五年度は首相の号令で繰り返しつつ先送り政策や、ばらまき事業、官僚の天下りなどの改革が、小手先だけの掛け声倒れで、我々に訴えるだけの結果に至っております。

財政難と称して国民だけに負担をおおいかぶせているように思えます。

国も地方自治体も縦割り行政の撤廃をはかり、今まで積み重ねた経験の成功例も失敗例もしっかりと検証し、自らも改革を示すことで、国民や市民に負担をお願ひするべきものではないでしょうか。私達透析患者では、北海道の独

自の重度心身障害者医療費助成事業（以後マル障制度と略します）見直して、皆様との協力で行った反対運動にもかかわらず、所得制限の導入に続き、透析に自己負担が導入されようとしています。

腎友会においても、札幌市と近郊市町村へ再考をお願いする要望書を提出して、対策にあたりました。また、幹事会・勉強会・親睦交流会・各事業や運動・広報活動などを行いました。

今後においても、皆さんと共に政策に目を向け、組織強化・運営・活動に務めたいと思います。

主な経過報告

●平成15年

- 4月1日 施設訪問（保坂内科クリニック）
- 4月22日 機関紙「生きる仲間」第64号（議案書）発行
- 4月26日 定期総会打合せ（事務所5名）
- 5月11日 第28回札幌腎友会定期総会（北区民センター60名）
- 5月18日 全腎協全国大会（山口県）
- 5月25日 第26回道腎協定期総会苫小牧大会

- 6月3日 臓器移植の普及にかかわる国会請願署名運動開始
- 6月28日 第1回30周年記念事業実行委員会（11名）
- 7月10日 機関紙「生きる仲間」第65号発行
- 7月13日 第1回幹事会・役員勉強会（北区民センター34名）
- 7月22日 “生きる仲間”臨時7号発行
- 7月26日 炊事遠足実行委員会（11名）
- 7月31日 市役所障害福祉課訪問（会長・事務局長）
- 8月2日 北海道難病連全道集会（札幌大会）
- 8月7日 腎キャンペーン実行委員会（10名）
- 9月7日 炊事遠足（滝野すずらん丘陵公園153名）
- 9月28日 腎提供者拡大街頭キャンペーン（大通り3丁目59名）
- 10月19日 第2回幹事会（北区民センター32名）
- 10月25日 道腎協ブロック会議（26日役員研修会）
- 10月29日 国会請願署名募金運動開始
- 11月10日 機関紙「生きる仲間」66号発行

●平成16年

- 1月13日 ボウリング大会実行委員会（6名）
 - 1月18日 幹事新年会（ホテル札幌会館23名）
 - 1月27日 “マル障見直しに反対する”道議会請願署名運動開始
 - 2月4日 高橋はるみ知事へ要望書提出
 - 2月5日 札幌市医療助成課へ要望書提出（会長・事務局長・編集長）
 - 2月12日 “生きる仲間”臨時8号発行
 - 2月15日 近郊市町村への要望書提出（依頼）
 - 3月10日 親睦ボウリング大会（青木ボウル64名）
 - 3月21日 機関誌「生きる仲間」第67号発行
 - 3月31日 第3回幹事会（北区民センター33名）
 - 3月31日 “生きる仲間”臨時9号発行
- ※その他に、各月末に事務局打合わせを実施しています。また各実行委員会や編集委員会・幹事会打合せなど何度も実施しています。省略してありますのでご了承下さい。

主な活動報告

1 会員拡大と組織の強化

最近の景気回復不透明感や年金の掛け金・保険料の増額、透析医療の自己負担導入など、私たちにとつても非常に厳しい時代になりました。

私たち透析患者の活動は、人まかせのものであつてはならない、一人ひとりが何かの形で活動をして行くことが大切です。

組織強化に会員拡大はかかせず、役員・会員それぞれの立場で力を結集して、日々の透析生活や活動のなかで、組織の大切さを患者さんに訴えてきました。しかしながら入会率は下降線となり、会員数は前年を大きく下回っています。

事務局でも活動に力を入れていますが、皆さんの思いのとおり進んでいるか疑問があるところがあります。

結果、平成一五年度末会員、四八九名(平成一四年度末会員数

一、五五一名)となりました。

2 親睦・交流事業

(1) 炊事遠足(九月七日)

九月七日滝野すずらん丘陵公園で炊事遠足を開催致しました。参加者一五三名と大賑わいで、豚汁・ジンギスカンを作り、森林浴をしながらの食事となりました。午後には、ゲームと抽選会を行い皆さま

んに十分楽しんで頂けたと思えます。

炊事遠足も回を重ねて来ましたが、準備や開催が幹事の高齢化と共に大変になって来ています。開催日には、初めての試みとして大学生のボランティアをお願いし、お手伝いして頂きました。

今後皆さんと工夫をして進めて行きたいと思えます。

(2) 親睦ボウリング大会(二月一五日)

青木ボウルで応援を含め六四名

が参加して、親睦ボウリング大会を開催しました。患者と家族・スタッフが思いおもいの投球で、ボウリングを楽しみ、久しぶりの運動で身体も心もリフレッシュして頂きました。

午後、食事会場で成績発表を行い、みんなの拍手で祝いました。

3 全腎協・道腎協および難病連との運動

(1) 健康保険制度及び福祉制度改善に反対する運動

平成一五年一二月末に提示された、マール障制度見直しを与えた影響は私たち透析者にとつて、非常に大きいものとなりそうです。

国も道も景気低迷の波を受け、緊縮財政策をとらざるを得ないのが現状だと思えますが、今回のマール障制度の見直しでは市町村民税課税世帯の透析は、一ヶ月一万円、その他の保



炊事遠足



ボウリング大会



腎キャンペーン

九月二十八日(土)、大通り三丁目において北海道庁・札幌市・日本臓器移植ネットワーク・北海道腎臓バンク・市立札幌病院腎移植科・札幌スノートライオンズクラブ・札幌エルムライオンズクラブ・北海道移植者協議会・北海道難病連の九団体と患者・家族五九名の参加者によって『腎提供者拡大街頭キャンペーン』を実施しました。

当日は、腎バンクへの登

険診療は一割負担となります。(市町村民税非課税世帯は現行どおり)一ヶ月一、〇〇〇円を越えた部分の償還制度はありますが、最低でも一生一万円を払い続けねばなりません。

いまだに、身内に甘い政策・縦割り行政・必要な公共事業と関連団体への天下りが横行している現状では、とても我慢の限界を超えています。

私たち透析患者は、道のマル障見直しは納得出来るものではない

く、反対運動を展開、会員一人ひとりにから知事への呼びかけと、役員や会員より道議会議員の紹介を頂いて、各会派道議に紹介議員になつて頂き、道議会に対し皆さんの請願署名を提出して、マル障制度見直し撤回の意思を伝えました。

今後の動向を見極め、運動をみんな考えて行かなければなりません。

道議会請願署名の集計結果は、九六六名でした。

(2) 腎臓提供者拡大に関する運動

平成15年度国会請願署名募金結果報告

施設名	全 腎 協		J P C		臓器移植
	署名数	募金額	署名数	募金額	署名数
石川泌尿器科	388	11,000	236	3,000	103
稲積公園駅前クリニック	351	24,000	366	3,000	121
いのけ医院	120	2,000	130	1,000	139
H・N・メディック	322	11,200	306	5,000	330
N T T 東日本札幌病院	351	23,400	300	2,000	280
小笠原クリニック札幌病院	0	0	0	0	12
小笠原クリニック付属外来プラザ	40	1,616	40	1,000	29
兼古循環器クリニック	130	2,000	130	0	130
清田泌尿器科	90	4,000	90	0	82
勤医協中央病院	673	25,000	470	1,200	300
クボタ泌尿器科クリニック	41	3,000	40	2,500	45
光星泌尿器科医院	350	5,000	140	0	60
札幌北クリニック	1,041	100,000	893	1,899	360
札幌厚生病院	165	0	163	0	138
札幌セントラルクリニック	189	2,800	189	1,220	131
札幌中央病院	50	1,000	50	0	24
札幌東クリニック	991	46,573	971	11,000	430

次頁へつづく

札幌北楡病院	955	39,600	924	7,000	665
佐藤医院	141	16,585	143	3,000	40
三樹会病院	390	2,500	390	500	200
J R 札幌鉄道病院	280	6,350	280	1,150	129
自衛隊札幌病院	43	3,000	19	0	0
市立札幌病院	230	31,000	230	6,300	130
仁愛会外科クリニック	166	13,000	166	0	159
新札幌循環器病院	76	8,000	75	6,000	20
仁楡会病院	672	23,400	640	700	350
澄腎クリニック	790	37,100	760	1,100	390
桑園中央病院	191	5,000	181	2,000	100
田島クリニック	560	12,900	560	3,100	400
手稲溪仁会病院	140	1,000	140	0	60
手稲ネフロクリニック	620	26,364	596	2,000	260
ていね泌尿器科	610	25,900	580	2,400	350
中野医院	201	6,500	181	500	130
新井田医院	390	32,700	390	3,000	0
広田医院	90	5,000	90	0	30
保坂内科クリニック	0	0	0	0	20
星野泌尿器科	230	2,000	230	0	40
北光記念病院	120	15,000	120	2,000	100
マロニエ通りクリニック	100	5,000	100	1,000	60
萬田記念病院	70	4,600	77	0	89
南一条病院	851	69,150	790	0	450
宮の森記念病院	799	10,000	281	0	141
元町泌尿器科	60	0	64	0	30
もなみクリニック	0	0	0	0	30
ゆうあいクリニック	80	1,500	70	500	0
40条クリニック	30	2,000	20	0	30
渡井医院	323	29,900	299	8,700	249
石狩病院	175	21,700	172	11,200	0
H・N・メディック北広島	350	16,000	356	7,000	220
田園通りさわぎき医院	246	18,100	246	0	121
はまなす外科医院	37	5,000	37	0	27
恵庭クリニック	67	0	67	0	30
個人会員	115	15,323	114	4,307	0
合計	15,490	773,761	13,902	106,276	7,764

札幌腎友会配分金(全腎協募金50%) 386,880円、J P C 配分金なし、今年度の全腎協国会請願は3月25日に行われました。

昨年度結果 全腎協署名数合計 13,814名 募金額合計 814,095円(配分金407,047円)
J P C 署名数合計 12,861名 募金額合計 122,646円

録のお願い・腎臓病相談・無料血圧測定・意思表示カード・ティッシュなどを配布し、臓器提供の意思の有無を書いた意思表示カードの携帯を呼び掛けました。

また、ボランティア活動を取り入れ公園周辺の清掃を行いました。

(3) 国会請願署名募金運動

全腎協の「腎疾患総合対策の早期確立を要望する」国会請願署名募金運動及び、JPCの「総合的難病対策の早期確立を要望する」国会請願署名募金運動を実施しました。また、臓器移植の普及にかかわる国会請願署名運動も行いました。

全腎協の請願行動は二月二十五日、衆参両議院会館において行われました。必要なすべての人に介護の保障・透析患者の在宅、施設サービスの拡充・通院介護保障体制を確立・糖尿病性腎症の予防と啓発活動の強化・医療、福祉従事者不足の解消・臓器移植のコーディネート増員と身分保障・災害時の透析治療体制の確立を請願事項として手渡され審議されます。集計結果は前頁のとおりです。

ご協力ありがとうございました。

(4) その他

STS協議会（札幌市の介護タクシー業者とNPOボランティアなどが集結して、共同配車サービスを提供する）に参加して、患者会からの要望などを伝えました。

4 広報活動

(1) 機関紙「生きる仲間」の発行

今年度も機関紙「生きる仲間」は総会議案書を含め四回発行し、幹事会報告として臨時七・九号を、マル障見直し反対について臨時八号の発行をしました。

機関紙「生きる仲間」は会員にとって大切なより早い情報源と、ご意見などの発表の場になっていきます。又、会員の連携と協力を進める上で、重要なバイブとなって働いています。より分かり易い情報と楽しめる編集に力を入れ、今後も皆様からの意見やアイデアを編集に生かしたいと思えます。

(2) 「ぜんじんきょう」「どうじん」の配布

「ぜんじんきょう」六回・「どうじん」五回をそれぞれ配布致しました。

5 資金造成活動

活動に取り組んで行きたいと思えます。

(1) 北海道難病連の販売幹事事業

ピアガーデン利用券は幹事さんを通じ、会員・スタッフの皆さんに販売して頂きました。販売額の結果は次頁の表のとおりです。

なお、還元金(五〇,〇〇〇円)は全額札幌腎友会に寄附して頂き、会活動に利用させて頂きました。

(2) 正月飾り販売事業

正月飾り販売は直接製造元と契約して販売を行っています。

販売額の結果は次頁の表のとおりです。なお、販売益は販売施設と札幌腎友会で按分となります。

収益金(一〇六,九七六円)は会活動に役立たせて頂きました。ご協力ありがとうございました。

6 その他の活動

(1) 役員の人材育成と発掘

道腎協との掛け持ち役員が多く、協力していただける役員が少なく、協力していただける役員が少ないなか少数精鋭で、色々な問題に取り組んで来ましたが、なかなか厳しいものがありませんが、今後においても皆様方の積極的な参加をお願いし、期待を持って今後の

(2) 役員勉強会

七月三日(日)、第一回幹事会終了後の午後より勉強会を行い、各幹事に「幹事マニュアル」を配布して内容の解説を行い、「会員の拡大について」はK・J法による意見交換を実施しました。

一〇月一九日(月)、第二回幹事会終了後の午後より勉強会を行い、会員の拡大について各施設の立場で意見交換をしました。

一〇月二六日(日)、道腎協主催の役員研修会が行われ、組織拡大について各地域腎友会に実施したアンケートの結果を分析、論議されました。

札幌腎友会の幹事の皆様にも参加をいただきました。

(3) 臓器移植基金募金箱運動

道腎協で実施している臓器移植基金募金箱運動は、会員・家族・その他趣旨に賛同いただいた方のご協力によるものです。

結果は次頁のとおりです、ご協力ありがとうございました。

なお、募金は全額道腎協より北海道腎バンクに寄附されました。

ピアガーデン利用券販売結果報告

施設名	販売売上額	施設名	販売売上額
H・N・メディック	2,000	澄腎クリニック	60,000
勤医協中央病院	20,000	手稲ネフロクリニック	5,000
光星泌尿器科医院	17,000	星野泌尿器科	35,000
札幌北クリニック	160,000	北光記念病院	5,000
札幌北榆病院	55,000	マロニエ通りクリニック	76,000
佐藤医院	5,000	宮の森記念病院	10,000
仁榆会病院	50,000	合 計	500,000

正月飾り販売結果報告

施設名	販売売上額	施設名	販売売上額
稲積公園駅前クリニック	41,390	福住泌尿器科クリニック	4,900
小笠原クリニック外来プラザ	7,280	星野泌尿器科	44,740
清田泌尿器科	3,400	南一条病院	30,090
光星泌尿器科医院	25,490	宮の森記念病院	13,700
札幌北クリニック	92,470	山本医院	12,130
澄腎クリニック	4,450	石狩病院	20,500
手稲ネフロクリニック	19,030	H・N・メディック北広島	3,700
ていね泌尿器科	32,070	サン内科外科病院	11,360
中野医院	12,640	個人会員(5名)	13,640
		合 計	392,980

臓器移植基金募金箱回収金額報告

取り扱い施設名	募金額	取り扱い施設名	募金額
光星泌尿器科医院	2,982	中野医院	3,903
札幌北クリニック	2,020	合 計	8,905

平成15年度一般会計決算報告

自 平成15年4月1日

至 平成16年3月31日

収入の部

科 目	予算額(円)	決算額(円)	備 考
会 費	9,600,000	8,828,000	1,489名
寄 付 金	50,000	518,928	
事 業 収 入	110,000	156,976	ピアガーデン利用券販売還元金、正月飾り収益金
雑 収 入	2,000	135,316	利子その他
小 計	9,762,000	9,639,220	
前記繰越金	1,067,799	1,067,799	
合 計	10,829,799	10,707,019	

支出の部

科 目	予算額(円)	決算額(円)	備 考
加 盟 費	6,720,000	6,179,600	全腎協・道腎協会費
総 会 費	190,000	182,744	議案書・会場費他
会 議 費	115,000	109,704	幹事会資料他
事 務 費	130,000	103,419	事務用品費他
通 信 費	330,000	276,203	切手・発送費他
親睦・交流会費	120,000	75,742	親睦交流会費
参 加 費	100,000	50,000	全腎協大会参加費他
事 務 局 費	1,300,000	1,303,550	家賃・光熱費・事務局長・会計手当・事務局費他
活 動 費	300,000	330,987	会費納入願発送費、会長活動費他
組 織 強 化 費	100,000	55,262	組織強化検討委員会費
機 関 紙 費	480,000	416,562	生きる仲間 3回発行
慶 弔 費	50,000	37,504	電報代他
雑 費	50,000	38,008	振込み手数料他
予 備 費	344,799	—	
繰 出 金	500,000	500,000	特別会計へ繰出し金
小 計	10,829,799	9,659,285	
次期繰越金	—	1,047,734	
合 計	10,829,799	10,707,019	

平成15年度特別会計決算報告

自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日

(収入の部)

(支出の部)

科 目	決算額(円)	科 目	決算額(円)
国会請願募金配分金	386,880	腎提供キャンペーン費	39,115
一般会計より繰入金	500,000	30周年積立金へ繰出金	1,300,000
平成14年度事務局強化積立金より繰入金	472,944	事務局強化費	2,898
雑収入	316	次期繰越金	602,734
前期繰越金	584,607	合 計	1,944,747
合 計	1,944,747		

平成15年度30周年記念事業 積立金決算報告

自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日

(収入の部)

(支出の部)

科 目	決算額(円)	科 目	決算額(円)
特別会計より繰入金	1,300,000	事務費他	5,200
前期繰越金	1,218,510	次期繰越金	2,513,310
合 計	2,518,510	合 計	2,518,510

平成15年度会計監査報告

私は札幌腎友会の平成15年度の決算報告に基づき関係書類、帳簿等を監査した結果、会計処理に間違いのないことを報告いたします。

平成16年3月31日

会計監査役 新山正紘 印
横堀信雄 印

平成一六年度活動方針(案)

日本経済の停滞で財政難を表明、国民への痛みを伴う負担を行いました。しかし、小手先改革やかみ合わない論議で事は進んでいません。北海道のマル障制度見直しは、

私たち透析患者にとつて非常に厳しい結果になり、今までは無料(高額所得者を除く)でしたが、医療費がかかるとなると考えさせられるものがあります。道議会でも決されると、各市町村で別々に提案されて、各議会で審議され決定致します。

事前に反対の要望書を提出しておりますが、今後の運動次第で各市町村に大きな格差が起きる事も考えられます。

皆さんが安心して透析を行う為、人任せではなく、透析患者一人ひとりが自分の事として受け止め、協力体制を強めて行くことが問われています。是非皆様のご協力をお願い致します。

全腎協・道腎協と札幌腎友会が団結・連携して、色々な問題に取り組んで行きたいと思致します。

で、成果を出す事こそ未加入会員にも大きなアピールが出来るのではないのでしょうか。

今後も、会員拡大の努力を皆さんと一緒に続けて行きたいと思致しますので、一層のご協力をよろしくお願い致します。

2 親睦交流活動

- (1) 野外レクリエーション
〔実行委員会設置〕
- (2) 文化交流活動
〔実行委員会設置〕
- (3) 三〇周年記念事業
〔実行委員会設置〕

策の早期確立を要望する」国会請願署名募金運動
(4) その他

4 広報活動

- (1) 機関紙「生きる仲間」の発行
三回、議案書として一回、(臨時号数回) 〔編集委員会設置〕
- (2) 「どうじん」「ぜんじんきょう」の配布

5 資金造成事業

- (1) 北海道難病連の販売幹旋事業(ピアガーデン利用券販売)に協力(還元金は全額札幌腎友会に寄付)
- (2) 正月飾り販売事業(札幌腎友会独自で取り組み、販売益は販売施設と札幌腎友会で按分)

3 全腎協・道腎協および難病連との運動

- (1) 健康保険制度及び福祉制度を守る運動
- (2) 腎提供者拡大街頭キャンペーン
〔実行委員会設置〕
- (3) 全腎協の「腎疾患総合対策の早期確立」国会請願署名募金運動及びJPCの「総合的難病対

6 その他の活動

- (1) 役員の人材育成と発掘
- (2) 役員勉強会
- (3) 臓器移植基金募金箱運動

主な活動目標

1 会員の拡大と組織の強化

平成一五年三月末現在、会員数一、四八九名(平成一四年三月末一、五五一名)となり昨年より大きく減少しました。

会員数の減少は約五割の施設でみられ、一割の施設の増加が有り

ましたが、減少が大きく上回り六二名減となっております。

もう一度、各施設の状況を把握、検証する事により、今後の会員拡大につなげて行きたいと思致します。

組織強化には会員拡大が必要不可欠ですが、保険制度の問題にも素早く察知して、手配すること

平成16年度一般会計予算(案)

自 平成16年4月1日

至 平成17年3月31日

収入の部

科 目	前年度決算額(円)	予算額(円)	備 考
会 費	8,828,000	9,300,000	1,550名×6,000円
寄 付 金	518,928	50,000	
事 業 収 入	156,976	110,000	正月飾り販売益、ピアガーデン利用券販売還元金
雑 収 入	135,316	1,000	利子その他
小 計	9,639,220	9,461,000	
前 期 繰 越 金	1,067,799	1,047,734	
合 計	10,707,019	10,508,734	

支出の部

科 目	前年度決算額(円)	予算額(円)	備 考
加 盟 費	6,179,600	6,510,000	全腎協・道腎協会費 1,550名×4,200円
総 会 費	182,744	190,000	議案書(機関紙“生きる仲間。として)、その他
会 議 費	109,704	125,000	幹事会費用、その他
事 務 費	103,419	100,000	事務用品費他
通 信 費	276,203	200,000	切手・発送費他
親睦・交流会費	75,742	120,000	親睦交流会費
参 加 費	50,000	100,000	全腎協大会参加費(1名分)他
事 務 局 費	1,303,550	1,470,000	家賃、光熱費、事務局長、会計手当、事務局費他
活 動 費	330,987	450,000	国会請願活動、会費納入袋発送費、会長活動費他
組 織 強 化 費	55,262	—	
機 関 紙 費	416,562	500,000	生きる仲間 3回発行
慶 弔 費	37,504	50,000	電報代他
雑 費	38,008	50,000	振込み手数料他
予 備 費	—	343,734	
繰 出 金	500,000	300,000	特別会計へ繰出し
小 計	9,659,285	10,508,734	
次 期 繰 越 金	1,047,734	—	
合 計	10,707,019	10,508,734	

平成16年度特別会計予算(案)

自 平成16年4月1日
至 平成17年3月31日

(収入の部)			(支出の部)		
科	目	予算額(円)	科	目	予算額(円)
国会請願募金配分金		350,000	腎提供キャンペーン費		150,000
一般会計より繰入金		300,000	30周年記念事業へ繰出金		400,000
雑収入		1,000	事務局強化費		100,000
前期繰越金		602,734	予備費		603,734
合 計		1,253,734	合 計		1,253,734

平成16年度30周年記念事業予算(案)

自 平成16年4月1日
至 平成17年3月31日

(収入の部)			備 考	
科	目	予算額(円)		
特別会計より繰入金		400,000		
前期繰越金		2,513,310		
合 計		2,913,310		

(支出の部)			備 考	
科	目	予算額(円)		
事務費		150,000	実行委員会、発送費	
記念の集い費		650,000	長期透析者表彰状、記念品費他	
記念誌費		2,000,000	30周年記念誌費、発送費	
予備費		113,310		
合 計		2,913,310		

平成一六年度 役員

※新しい役員の氏名は太字にしてあります。

会 長

鈴木啓三(札幌北クリニック)

副 会 長

村本徳雄(札幌北クリニック)
菅木芳三(もなみクリニック)

会 計

石井典子(光星泌尿器科医院)

事 務 局 長

柳沼正一(手稲ネフロクリニック)

事 務 局 次 長

吉田季代乃(泉野泌尿器科)

運 営 委 員

棚田まゆみ(田島クリニック)
佐藤 功(光星泌尿器科医院)
庄野 一男(H・N・メディック札幌東)
川村隆志(宮の森記念病院)
堀井和彦(光星泌尿器科医院)
澤内繁雄(仁 檢 会 病 院)

会 計 監 査 役

横堀信雄(稲積公園駅前クリニック)
大野武昭(ていね泌尿器科)

幹事

石川 泌尿器科 (遠藤 兼市・伊藤 邦夫)

稲積公園駅前クリニック (横堀 信雄・沢田 英子・高柳 昌二)

いのけ 医院 (三沢 洋子)

H・N・メディック (西山 道博)

H・N・メディック札幌東 (庄野 一男・今 武雄)

N T T 東日本札幌病院 (稲田 邦昌・河野 恒雄)

小笠原クリニック外来プラザ (近藤 覚)

兼古循環器クリニック (雨宮 英子)

清田 泌尿器科 (川島 静子)

勤医協 中央病院 (木谷 憲男)

クボタ泌尿器科クリニック (宮本 國江)

クリニック198 札幌 (武田 誠剛)

芸術の森泌尿器科 (佐々木 栄)

光星泌尿器科医院 (堀井 和彦)

幌南 病院 (阿部 勝夫・内海 寿彦)

坂泌尿器科病院 (豊島 俊三)

札幌北クリニック (高橋 幹子・仲山千鶴子・正岡 正由)

札幌厚生病院 (小野 優子)

札幌セントラルクリニック (西山 利彦・倉田 康司・杉本 恵子)

札幌東クリニック (佐々木美智子)

札幌北 榎病院 (鈴木 英二・梶田 勇・新井 静子)

札幌 榎病院 (関根 睦子・原田美智子・加藤 久子)

三 樹 会 病院 (工藤 るみ)

J R 札幌鉄道病院 (中島 一夫・斉藤 栄子)

白衛隊札幌病院 (米澤 保弘)

市立札幌病院 ()

仁愛会外科クリニック (中崎美津子・齋藤 好子)

新札幌循環器病院 ()

仁 榎 会 病院 (澤内 繁雄・阿部 隆・佐藤 しづ)

(美馬 勲・千葉 斌)

澄腎クリニック (原田 孝子・横山 厚子)

桑園 中央病院 (本田 敏・高橋 春好)

田島クリニック (棚田まゆみ・三上 照美)

手稲溪仁会病院 (長沼 和代)

手稲ネフロクリニック (高木 和彦・柳沼 正二)

ていね泌尿器科 (大野 武昭)

中野 医院 (小山 保順・福原真理子)

新井 田 医院 (岡崎 政司)

広 田 医 院 (外崎 豊)

福住泌尿器科クリニック (小山 隆夫)

保坂内科クリニック (淀川 芳道)

星野 泌尿器科 (吉田季代乃)

北光 記念病院 (下川 勉・山田 忠彦)

マロニエ通りクリニック (長谷川賢二)

萬田 記念病院 ()

南 一 条 病 院 (岩館 二男・三上留美子)

宮の森記念病院 (小澤出紀恵)

元町 泌尿器科 ()

もなみクリニック (菅木 芳三)

山 本 医 院 ()

ゆうあいクリニック ()

40 条クリニック ()

渡 井 医 院 (吉澤 廣・新津由美子・塚原 七生)

石 狩 病 院 (坂川 勝良・佐藤 義信)

H・N・メディック北広島 (三宝 正延)

田園通りさわぎ医院 ()

はまなす外科医院 (杉本 和昌)

恵み野 病院 ()

恵庭クリニック ()

※佐藤医院はH・N・メディック札幌東に改称されました。

各委員会

◎野外リクリエーション実行委員会

〈委員長〉 庄野 一男 (H・N・メディック札幌東)

〈副委員長〉 (実行委員会にて選出)

〈委員 員〉 雨宮 (兼占循環器クリニック)、木谷 (勤医協中央病院)、

中嶋・斉藤 (J R 札幌鉄道病院)、高橋・仲山・正岡 (札

幌北クリニック)、稲田・河野 (N T T 東日本札幌病院)、

本田・高橋 (桑園中央病院)、三上 (南一条病院)、工藤 (三

樹会病院)、大野 (ていね泌尿器科)、淀川 (保坂内科クリ

◎文化交流活動(ボウリング大会) 実行委員会

〈委員長〉 棚田まゆみ (田島クリニック)

〈副委員長〉 (実行委員会にて選出)

〈委員 員〉 高柳 (稲積公園駅前クリニック)、近藤 (外来プラザ)、鈴

木・関根・新井・原田・巽田・加藤 (札幌北検病院)、横

山・原田 (澄腎クリニック)、三上 (田島クリニック)、吉

澤・新津・塚原 (渡井医院)、三沢 (いのけ医院)、遠藤・

伊藤 (石川医院)、阿部・美馬・千葉・佐藤 (仁檢会病院)

◎腎提供キャンペーン実行委員会

〈委員長〉 柳沼 正一 (手稲ネフロクリニック)

〈副委員長〉 (実行委員会にて選出)

〈委員 員〉 横堀・沢田 (稲積公園駅前クリニック)、西山・倉山・杉

本 (札幌セントラルクリニック)、佐々木 (札幌東クリニ

ック)、中崎・齋藤 (仁愛会外科クリニック)、小山・福原

(中野病院)、長谷川 (マロニエ通りクリニック)、小澤 (宮

の森記念病院)、下川・山田 (北光記念病院)、小野 (札幌

厚生病院)、三玉 (H・N・メディック北広島)

◎三〇周年記念事業実行委員会

〈委員長〉 柳沼 正一 (手稲ネフロクリニック)

〈副委員長〉 村本 徳雄 (札幌北クリニック)

菅木 芳三 (もなみクリニック)

〈委員 員〉 鈴木 啓三、石井 典子、吉田季代乃、佐藤 功、

棚田まゆみ、庄野 一男、川村 隆志、堀井 和彦、

澤内 繁雄

◎編集委員会

〈委員長〉 佐藤 功 (光星泌尿器科医院)

〈副委員長〉 柳沼 正一 (手稲ネフロクリニック)

〈委員 員〉 村本 徳雄 (札幌北クリニック)、石井 典子 (光星泌尿器科医院)、吉田季代乃 (星野泌尿器科)

道腎協派遣役員

〈会 長〉 川村 隆志 (宮の森記念病院)

〈副会長〉 堀井 和彦 (光星泌尿器科医院)

〈会 計〉 村本 徳雄 (札幌北クリニック)

〈事務局長〉 澤内 繁雄 (仁檢会病院)

〈事務局次長〉 三上留美子 (南一条病院)

〈運営委員〉 柳沼 正一 (手稲ネフロクリニック)

菅木 芳三 (もなみクリニック)

〈幹 事〉 佐藤 功 (光星泌尿器科医院)

石井 典子 (光星泌尿器科医院)

〈会計監査役〉 福原真理子 (中野医院)

札幌腎臓病患者友の会会則

第1章 総 則

(名称及び事務局)

第1条 本会は札幌腎臓病患者友の会(略称:札幌腎友会)と称する。

2 本会の事務局は札幌市内に置く。

(組 織)

第2条 本会は腎臓病患者とその家族をもつて構成する。

2 本会は北海道腎臓病患者連絡協議会(略称:道腎協)へ加盟するとともに、社団法人全国腎臓病協議会(略称:全腎協)及び財団法人北海道難病連(略称:道難病連)へも道腎協を通して加盟する。

(事 業)

活の質的向上を計ること
を目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員拡大と組織強化に関する事業
- (2) 会員相互の親睦交流に関する事業
- (3) 広報に関する事業
- (4) 疾病に関する医学知識の学習
- (5) 会員の福利厚生、福利増進に関する事業
- (6) 関係機関又は団体との連絡
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

第3章 会 員

(種 別)

第5条 本会の会員は次の二種とし、正会員のみ総会における議決権を有する。

- (1) 正会員: 本会の趣旨に賛

第4章 役 員

(役 員)

第8条 本会の円滑な運営を図るため、次の役員を置く。

- (1) 会長 一名
 - (2) 副会長 若干名
 - (3) 会計 一名
 - (4) 事務局長 一名
 - (5) 事務局次長 若干名
 - (6) 運営委員 若干名
 - (7) 幹事 各施設若干名
 - (8) 会計監査役 二名
 - (9) 相談役 若干名
- 第6条 正会員及び賛助会員として入会しようとする者は、入会申込書に別に定める会費を添えて、各施設幹事を通して、又は直接事務局に提出したときから会員とする。
- (入 会)
- 第7条 正会員及び賛助会員は、各施設幹事を通して、又は事務局に直接退会届を提出し任意に退会することができる。
- (退 会)
- 2 死亡したとき、会員がこの会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき、幹事会に因って退会させる事ができる。
- 3 役員は任期は二年とし、再選を妨げない。また、中途補充により選出された役員は前任者の残任期間とする。
- 4 役員は辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と交流を計り、腎臓病患者の健康の維持増進と、生

5 役員は本会の運営に支障を及ぼすことのない場合に限り、道賢協又は全腎協若しくは他の役員を兼任することができる。

6 各種事業の円滑推進を図るため、事業ごとの実行委員会を組織運営することができる。

7 幹事は各施設の正会員の

第9条 会長は会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、これを代理する。

3 会計は本会の収支状況の経理を行い、総会において会計報告をし、承認をうける。

4 事務局長は会議の企画立案、各種事業を推進し、事務全般を総括する。

5 事務局次長は事務局長を補佐し、各種事業の円滑推進に寄与する。

6 運営委員は会の運営に寄与し、各事業部門の分担運営にあたる。

7 幹事は各施設の正会員の

代表であり、幹事会を構成し、各種行事の案内、出欠、幹事の取りまとめ、会費の徴収、機関紙の配布、各種連絡に寄与する。

8 会計監査役は年度末に現金出納簿、関係書類を監査し、幹事会及び総会において結果を報告する。

9 相談役は幹事会に対し意見を述べる事が出来る。

第5章 会 議

(種別)

第10条 本会の会議は次の通りとする。

(1)総会

(2)幹事会

第11条 (総会) 総会は会の最高議決機関であつて、年一回前年度の会計期間終了後、すみやかに会長が召集する。

2 臨時総会は会長が必要と認めるとき、又は会員の五分の一以上の要請があつたとき召集することができる。

できる。

3 総会は正会員をもって構成する。

4 総会は正会員の過半数(委任状、文書出席を含む)の出席をもって成立する。

(総会委任)

第12条 総会当日、やむを得ない理由で出席できない正会員は、総会の運営上、各施設幹事にその権限を委任するものとし、この場合幹事の出席をもって、正会員は出席したもの(委任状提出者)とみなす。

(幹事会)

第13条 幹事会は総会に次ぐ、議決機関であつて年二回以上開催する。

2 幹事会は幹事と他の役員をもって構成し、構成員の半数以上(委任状を含む)の出席をもって成立する。

(会議の議長) 第14条 総会における議長は出席した正会員から選出し、幹事会における議長は原則として会長が務めるものとする。

のとする。

(会議の議決) 第15条 会議における議事の議決は、原則として賛否によらず、相互の意見を尊重しながら、十分な議論をするものとし、やむなく議決の必要が生じた場合は、出席者の過半数の賛成をもって議決し、可否同数の場合は議長が決する。

(総会、幹事会付議事項) 第16条 総会、幹事会に必ず付議しなければならない事項は次の通りとする。

(1)会則の改正に関すること

(2)事業経過・計画、収支決算・予算、役員の承認、会計監査に関すること

第6章 会 計

(経費)

第17条 本会の経費は、会費及び寄附金、その他の収入によつて賄う。

(会費)

第18条 正会員及び賛助会員は、会則に定める会費を納入しなければならない。

2 会費は会員ひとり当たり、年額六千円（内訳・札幌腎友会千八百円、道腎協二千四百円、全腎協千八百円）とし中途入会者は、月割（月額五百円）計算とする。

第7章 簿 冊

(会則及び役員名簿)

第21条 本会の会員名簿は、入会申込書を綴り事務局で常に記録整理し、持出し禁止とする。

3 会費納入は原則として新年度の早い時期にすみやかに納入しなければならぬ。

4 一旦納入した会費及び拠出金品は、収支予算上重大な支障を及ぼすため、これを一切返戻しない。

(会計年度)

第19条 本会の会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十日に終わる。

(現金出納簿及び関係書類)

第20条 本会の収支状況を記録した現金出納簿及び関係書類は、總會において監査報告を受け、承認されたのち、三年間保存しなければならぬ。その後は焼却処分とする。

る。

2 本会が五年ごとに行つて

いる記念式典に於いて正会員で十年、二十年、二十五年、三十年の長期透析者には、その労苦をたたえ記念品をそえて表彰する。

(慶弔)

第24条

本会の会員が結婚もしくは、死亡した場合で、その施設の幹事から、儀式にまにあうよう連絡を受けた時は、祝電又は弔電を打つ事とする。

(会則綴り)

第22条 本会の会則を会則綴りに保管し、改正の都度記録を綴り永久保存するものとする。

第8章 表彰及び慶弔

(表彰)

第23条 本会に長年入会し、多大な功績があつたと認められる会員は、幹事会の決定により、会長表彰を授与し、又は道腎協の感謝状を上申することができ

第9章 付 則

(会則の改正)

第25条 本会の会則の改正は、幹事会において審議し、總會において出席者の過半数の同意がなければ改正

することができないものとする。

2 本会の会則は一九七四年(昭和四十九)年六月一日から施行。

(1)一九九〇(平成二)年四月十五日 一部改正(会費年額四千二百円から六千円)

(2)一九九二(平成四)年四月十九日 一部改正(会計監事から会計監査)

(3)一九九七(平成九)年五月十一日 一部改正(事務局次長若干名新設)

(4)一九九八(平成十)年五月十日 大幅改正

(5)一九九九(平成十一年)年五月九日 一部改正(運営委員若干名新設)

(6)二〇〇二(平成十四)年五月十二日 一部改正

(相談役新設)

施設別会費納入者数

施設名	会費納入者数		施設名	会費納入者数	
	H14年度	H15年度		H14年度	H15年度
石川泌尿器科	70	73	田島クリニック	57	55
稲積公園駅前クリニック	47	44	手稲溪仁会病院	6	5
いのけ医院	23	19	手稲ネフロクリニック	20	32
うえと医院	3	—	ていね泌尿器科	40	40
H・N・メディック	55	53	中野医院	38	36
N T T 東日本札幌病院	28	34	新井山医院	17	19
小笠原クリニック札幌病院	5	2	東苗穂病院	1	3
付属外来プラザ	—	3	広田医院	9	9
兼古循環器クリニック	10	11	福住泌尿器科クリニック	8	(8)
清山泌尿器科	17	14	保坂内科クリニック	—	4
勤医協中央病院	95	85	星野泌尿器科	—	6
クボタ泌尿器科クリニック	8	4	布施川内科医院	3	2
クリニック198札幌	21	20	北光記念病院	16	14
芸術の森泌尿器科	10	12	萬田記念病院	19	13
光星泌尿器科医院	12	10	マロニエ通りクリニック	14	14
幌南病院	25	17	南一条病院	79	76
坂泌尿器科病院	5	4	宮の森記念病院	36	35
札幌北クリニック	108	99	元町泌尿器科	—	3
札幌厚生病院	29	24	もなみクリニック	—	3
札幌セントラルクリニック	25	27	山本医院	3	2
札幌東クリニック	50	46	ゆうあいクリニック	—	6
札幌北楡病院	114	104	40条クリニック	8	8
札幌南青洲病院	2	0	渡井医院	42	40
佐藤医院	28	26	石狩病院	16	21
三樹会病院	22	22	H・N・メディック北広島	36	34
J R 札幌鉄道病院	11	11	田園通りさわぎき医院	13	11
自衛隊札幌病院	5	3	はまなす外科医院	10	8
市立札幌病院	13	14	恵み野病院	12	4
仁愛会外科クリニック	22	23	恵庭クリニック	1	3
新札幌循環器病院	10	7	個人会員	30	30
仁楡会病院	66	62	賛助会員	3	5
澄腎クリニック	44	52	合計	1,551	1,489
桑園中央病院	31	23			

文書発言用紙

氏名		男・女	年齢	歳
住所	〒			
電話		病院名		

会員は文書で意見を述べる事ができます。活動方針に対し、ご意見のある方は、この用紙にご意見を書いて5月10日までにお送り下さい。

(送付先：〒001-0017札幌市北区北17条西2丁目21-617 サザンアベニュー北大301
札幌腎臓病患者友の会 宛 TEL707-6789)

意見書

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
平成16年4月10日発行 (毎月10日発行)

H.S.K通巻385号

発行所 北海道身体障害者団体定例
印刷所 北海道機関紙印刷所
行物協会

(購読料は会費を含む)
頒価150円

キリトリ